



step③

博学連携による博物館学習(研究員と教員との連携による活用方法)

博学連携とは、博物館の研究員と学校の教員が、子どもの「生涯学習社会に対応した力」(博物館の利用方法や博物館の見方・考え方)を育成するために、相互の教育機能を生かして、連携した教育活動を行い、学習効果を高めるためのシステムです。

中央博の展示資料(モノ)と研究員(ヒト)の活用で学習の可能性が広がります。

☆中央博物館の研究員(約50名)による学習支援で教材研究が深まり、学習が充実します。



◇教育普及課職員による博物館学習のコーディネート

「博物館でどのような学習ができるの?」「どのように学習させればいいのか?」
先生方のそんな疑問にお答えします。

◇専門性の高い研究員との教材研究と展示室でのサポート

「展示資料の解説を聞いて教材研究をしたい。」「展示室で子どもたちに支援をしてもらいたい。」
などの先生方の声にできるだけお応えします。



研究員による教員の教材研究に対するサポート



研究員による展示室での学習活動に対するサポート

◇モノの持つ説得力による子どもたちの主体的な学習活動

「教科書の百聞は、博物館の一見にしかず!」
博物館でモノを見ることで、子どもたちの学びの心が刺激され、主体的に学習することができます。

博物館活用(博学連携による博物館学習)のすすめ方

- 1 教育普及課に団体見学申込をする。電話連絡可(教育普及課:043-265-3776)
- 2 県立中央博物館のWebページの「学校利用」から「博物館学習」を見る。
- 3 博物館学習を希望する場合は、教育普及課に連絡する。
様式1「博物館学習対応シート」に必要事項を記入し、FAX送信する。
- 4 予察をする。
①教育普及課職員と博物館学習の方法について協議する。
②研究員と展示室等において教材研究をする。
- 5 事前学習及び指導をして来館する。(研究員による学習支援)
- 6 事後学習をして博物館学習の深化を図る。(調査内容の発表会・新聞作成等)

III 中央博物館の学校利用



【利用案内】

- 開館時間** 午前9時から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)
- 休館日** 毎週月曜日(但し月曜日が休日の場合は開館し、火曜日が休館日)
- 入場料** 一般300円(240円) 高・大学生150円(120円) ※()内は20名以上の団体料金
 - ・企画展開催中(特別料金の設定)
 - ・中学生以下は無料
 - ・県内の学校団体等の場合、引率教員は無料(要減免申請)

【見学時のお願い】(事前に学校での指導をお願いします。)

- 展示資料にはさわらないでください。(体験学習室などのさわってもよい展示資料を除きます。)
- 館内で走ったり大声で話したりして、他の来館者の迷惑にならないようにしてください。
(公共施設でのマナー指導)
- 展示室での飲食は禁止です。
- 当館では、ペン類及び消しゴムの使用はできません。(鉛筆のみ使用可)



【来館時の流れ】

1. 本館1階の学校団体入口からご入場ください。
2. 代表の方は、学習情報センター(1階入り口正面)で団体受付を行ってください。
「入場料金・昼食場所・利用時間・荷物置き場等」についてご案内させていただきます。
3. その他の方は、
 - ①荷物を指定された場所に置くように指示してください。
 - ②トイレ等をすませた後に、子どもを整列させて座らせてください。
 - ③「子ども用パンフレット」を受け取り、全員に配布してください。
4. 入場料金は、受付後に2階の入場券売場でお支払いいただきます。
5. オリエンテーションを行った後に、2階の入り口までご案内いたします。

【荷物置き場】

- 1階ホールの空いているスペースをご利用いただけます。
- コイン返却式(100円)の無料ロッカーがあります。

【写真撮影】

- スナップ写真は、他の来館者の迷惑にならない範囲で撮影してください。
(注)房総の歴史展示室(撮影禁止)・小動物展示室(フラッシュ・ストロボ禁止)

【昼食場所】

- 本館1階ホール(約100名)・研修室(約40名)が利用できます。(要予約)
- 1団体30分以内のご利用をお願いします。
- 昼食場所だけのご利用はできません。



【駐車場】

- 当館隣接の県立青葉の森公園に北口駐車場(有料)があります。
減免措置等の詳細は、【青葉の森公園・公園センター】TEL: 043(208)1500
<http://www.cue-net.or.jp/kouen/aoba/>にてお問い合わせください。